

## 2007年 第1回山梨県ジュニアユース（U-15. 14）サッカーリーグ実施計画

### 1 主 旨

財団法人日本サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担うユース（15歳以下）の少年達のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的にし、第3種年代の力が拮抗したリーグを各地域で実施することを提案された。その主旨を受け、山梨県サッカー協会第3種委員会では、標記大会を実施することとした。

- ①長期に渡るリーグ戦の実施で、選手・指導者にM-T-Mの良い環境を提供できる。
- ②クラブと中体連の交流機会が増え、運営も含めて協力態勢ができる。
- ③拮抗した試合により、緊張感が持て、さらに目標をもって試合をすることができる。
- ④プレイヤーズファーストの理念を元に選手の技術・戦術が向上する機会（可能性）が増える。

2 名 称 仮称「山梨県ジュニアユース（U-15. 14）サッカーリーグ」

3 主 催 山梨県サッカー協会第三種委員会

4 協 賛 未定

5 協 力 未定

6 期 日 前期 2007年 4月～2007年9月末日 [モデルリーグU-15]  
後期 2007年11月～2008年3月末日 [新規リーグ開設U-14]  
前期 2008年 4月～2008年9月末日 [U-15対象]  
後期 2008年11月～2009年3月末日 [U-14対象]  
前期 2009年 4月～2009年9月末日 [U-15対象]  
後期 2009年11月～2010年3月末日 [U-14関東入替え参戦]  
以降 2010年～継続実施。

※入れ替え戦の日程については、前期後期の終了後とし、日程の調整後に実施する。（10月中予定・U-14対象）

7 会 場 各地域施設及び県内各中学校グラウンド

- 8 参加資格
- (1) (財) 日本サッカー協会第3種に登録したチームもしくは準加盟チームであること。
  - (2) 上記(1)のチームに登録された選手であること。
  - (3) 日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別チームに所属する選手を移籍手続きすることなく本大会に参加することができる。この場合、同一クラブ内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。なお、本項適用対象となる選手の年齢は第4種年代とし、第3種およびそれ以外の年代の選手は適用対象外とする。
  - (4) 大会期間中の移籍選手については、移籍手続きが完了した時点（登録選手証携帯）で出場を認める。

(5) 女子登録選手については、移籍手続きをせずに出場を認めるが、同一チーム（女子チーム）が出場している場合は不可とする。

- 9 競技方法
- (1) 試合時間は、U-15は35分ハーフ（インターバル10分）U-14は30分ハーフ（インターバル5分）とする。
  - (2) 順位決定方法は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝ち点により、勝ち点の多い順に決定する。但し、勝ち点の合計が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
    - ①全試合のゴールディファレンス（総得点－総失点）
    - ②全試合の総得点
    - ③当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
    - ④ ①～③の全項目において同一の場合は、抽選（当該チーム代表者立ち会いによる）により決定する。
  - (3) 当該チームの対戦は一試合とする。ホーム&アウェー制は以後検討。

- 10 競技規則
- 1) 現行の日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則 2007』による。
  - 2) 選手登録はチーム所属選手全員とし、試合ごと20名のベンチ入りメンバーを申告する。交代は主審の許可を得てベンチ入りメンバー9名までの交替が認められる。（自由な交替は適用しない）
  - 3) 本大会において警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。ただし、違反行為の内容によっては、それ以降の処置を本大会規律委員会において決定する。また内容によってリーグ期間中の他公式戦への出場制限を設ける場合もある。
  - 4) 警告退場の累積は、次期リーグへ持ち越し継続して出場制限をする。
  - 5) 原則としてテクニカルエリアを使用する。ただし、会場の状況に応じて会場責任者の判断により設けなくてもよい。テクニカルエリアはベンチ入りのチーム役員が全てが戦術的な指示を出せる場であるが、指示を出せる役員はその都度1名のみとする。

- 11 その他
- 1) ベンチに入れる者は、登録選手20名及び、監督・コーチ4名までとする。
  - 2) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、正の他に副として、正と異なる色のユニホームを参加申込書に記載し、必ず携行すること。また、ショーツ・ストッキングはチームで統一しているものが望ましい。
  - 3) Aグループ1位は、関東リーグ入れ替え戦に山梨県代表として出場する。
  - 4) 各グループ優勝は、表彰する。

- 5) 選手は登録選手証（写真の添付されたもの）を持参し、試合開始前に本部または審判員が確認をする。不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。
- 6) 各チームは会場における注意事項を守り、サッカー関係者としてのマナーに十分心がける。また、会場内は禁煙を原則とするが、会場使用上の注意に従うこと。応援の保護者等にも協力を呼びかける。
- 7) 規律委員会を組織し、委員長は大会委員長が兼任する。規律委員会の委員人選については委員長に一任し、選手の懲戒、チームへの指導等について協議する。
- 8) 試合開始時刻30分前にメンバー登録用紙の提出（2部）、両チームのユニホームの決定、諸注意事項等の確認を行う。
- 9) 審判の運営は、各チーム有資格審判員を帯同し協力する。割当てについては、各会場において会場責任者及び事務局を中心に行う。
- 10) 服装、髪型、態度等思わしくない選手のないよう、各チームで指導する。
- 11) 会場設営は、会場使用チームで1名を派遣し協力する。第一試合90分前には会場入りできるようにする。

#### 運営形式について

##### 〈リーグ事務局〉

- ・ 大会事務局（入れ替え・結果集計及び会場確保等）
- ・ 各グループ事務局（グループ内の結果集計・日程調整及び会場調整等）

##### 〈グループ編成〉

- ・ グループ編成は、中体連及びクラブ新人大会とJY新人戦をポイント制にし、結果を考慮して行う。7～10チーム程度のグループ内チーム数と考える。[モデルリーグ]
- ・ 2007年後期リーグのグループ編成は、モデルリーグを含み、各新人大会の結果等を考慮してグループ編成を行う。以後は継続させながらの編成を重視する。
- ・ 上位リーグからA・B・C・・・というグループ編成で、全体を振り分けるか、参加チームによっては、CまたはDグループとし地域性を考慮したグループ編成する。
- ・ 前期→後期と期間の結果によって、入れ替えを行い、均衡したゲームの改善に努めることと、各グループの最低2チームは入れ替えを行うものとする。（検討）
- ・ 後期入れ替えの条件に、中体連及びクラブ新人大会をポイント制にし、入れ替え条件に加味する。

##### 〈試合の消化〉

- ・ 当該チームとの対戦において、原則として第3者審判運営による結果をもって、公認されるものとするが、日程の消化不慮等、無理が生じた場合は、自主運営として事前に事務局への報告をもって認める場合もある。
- ・ リーグ期間中において、クラブ及び中体連大会で、リーグ対戦と重複する場合は、公

式結果として認める場合もある。但し、事前に事務局に報告すること。

(注意：トーナメント方式の場合は延長及びPK戦を除く結果とする。)

- 当該チームの対戦は一試合とする。
- 一日1試合を原則とする。但し、会場や日程等の関係で2試合になってもよい。

〈審判〉

- 各チーム最低2名となるが、第4審やラインについては、選手または保護者等を派遣しても良い。但し、できる限り有資格者が望ましい。
- 自主運営による審判の運営は、当該チームで相談し、運営を行う。